

精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導

《履修上の留意事項》この科目を履修するものは、合わせて精神保健福祉ソーシャルワーク実習も必ず履修すること。

《担当者名》 橋本 菊次郎 hashimoto-kiku@hoku-iryo-u.ac.jp 奥田かおり 鈴木和 向谷地生良（客員）

【概要】

精神障害者やその生活のしづらさ、精神保健福祉援助の知識と技術について個別指導及び集団指導を通して実践的に学ぶ。また実習前・中・後、それぞれに課題や到達点を確認する。

【学修目標】

1. 実習の意義と概要を説明できる。
2. 精神障害者の置かれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解できる。
3. 精神保健福祉援助に係る知識と技術を理解し、実践できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション (奥田グループ)	科目の概要、実習に関するスケジュールの確認をする。 実習、実習指導における個別指導と集団指導の意義について理解し、説明できる。	奥田
	オリエンテーション (鈴木グループ)	科目の概要、実習に関するスケジュールの確認をする。 実習、実習指導における個別指導と集団指導の意義について理解し、説明できる。	鈴木
	オリエンテーション (橋本グループ)	科目の概要、実習に関するスケジュールの確認をする。 実習、実習指導における個別指導と集団指導の意義について理解し、説明できる。	橋本
2	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解 (奥田グループ)	精神保健福祉、精神医療の現状と精神保健福祉士の役割について理解し、説明できる。	奥田
	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解 (鈴木グループ)	精神保健福祉、精神医療の現状と精神保健福祉士の役割について理解し、説明できる。	鈴木
	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解 (橋本グループ)	精神保健福祉、精神医療の現状と精神保健福祉士の役割について理解し、説明できる。	橋本
3	精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術の理解 (奥田グループ)	精神保健福祉士の実践現場 (領域) について理解し、説明することができる。	奥田
	精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術の理解 (鈴木グループ)	精神保健福祉士の実践現場 (領域) について理解し、説明することができる。	鈴木
	精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術の理解 (橋本グループ)	精神保健福祉士の実践現場 (領域) について理解し、説明することができる。	橋本
4	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解 (奥田グループ)	事前にグループにおいて「精神科病院の仕組みと求められる精神保健福祉士の役割について」ディスカッションを行い、特別講師の講話を通して学び、理解し、説明できる。	川元康寛 (特別講師) 奥田
	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解 (鈴木グループ)	事前にグループにおいて「精神科病院の仕組みと求められる精神保健福祉士の役割について」ディスカッションを行い、特別講師の講話を通して学び、理解し、説明できる。	川元康寛 (特別講師) 鈴木
	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解 (橋本グループ)	事前にグループにおいて「精神科病院の仕組みと求められる精神保健福祉士の役割について」ディスカッションを行い、特別講師の講話を通して学び、理解し、説明できる。	川元康寛 (特別講師) 橋本
5	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解 (奥田グループ)	事前にグループにおいて「精神科診療所 (クリニック・デイケア) の仕組みと求められる精神保健福祉士	藤澤綾 (特別講師) 奥田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		の役割について」ディスカッションを行い、特別講師の講話を通して学び、理解し、説明できる。	
	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解（鈴木グループ）	事前にグループにおいて「精神科診療所（クリニック・デイケア）の仕組みと求められる精神保健福祉士の役割について」ディスカッションを行い、特別講師の講話を通して学び、理解し、説明できる。	藤澤綾（特別講師） 鈴木
	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解（橋本グループ）	事前にグループにおいて「精神科診療所（クリニック・デイケア）の仕組みと求められる精神保健福祉士の役割について」ディスカッションを行い、特別講師の講話を通して学び、理解し、説明できる。	藤澤綾（特別講師） 橋本
6	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解（奥田グループ）	事前にグループにおいて「地域事業所（障害者総合支援法 障害福祉サービス事業）の仕組みと求められる精神保健福祉士の役割について」ディスカッションを行い、特別講師の講話を通して学び、理解し、説明できる。	林若菜（特別講師） 奥田
	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解（鈴木グループ）	事前にグループにおいて「地域事業所（障害者総合支援法 障害福祉サービス事業）の仕組みと求められる精神保健福祉士の役割について」ディスカッションを行い、特別講師の講話を通して学び、理解し、説明できる。	林若菜（特別講師） 鈴木
	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解（橋本グループ）	事前にグループにおいて「地域事業所（障害者総合支援法 障害福祉サービス事業）の仕組みと求められる精神保健福祉士の役割について」ディスカッションを行い、特別講師の講話を通して学び、理解し、説明できる。	林若菜（特別講師） 橋本
7	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解（奥田グループ）	事前にグループにおいて「当事者及び精神保健福祉士の支援について」ディスカッションを行い、特別講師の講話を通して学び、理解し、説明できる。	池松麻穂（特別講師） 奥田
	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解（鈴木グループ）	事前にグループにおいて「当事者及び精神保健福祉士の支援について」ディスカッションを行い、特別講師の講話を通して学び、理解し、説明できる。	池松麻穂（特別講師） 鈴木
	精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解（橋本グループ）	事前にグループにおいて「当事者及び精神保健福祉士の支援について」ディスカッションを行い、特別講師の講話を通して学び、理解し、説明できる。	池松麻穂（特別講師） 橋本
8	精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務の理解及び実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解（奥田グループ）	精神保健福祉士に求められる職業倫理について理解する。また倫理綱領を基に守秘義務についてについて理解し説明することができる。	奥田
	精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務の理解及び実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解（鈴木グループ）	精神保健福祉士に求められる職業倫理について理解する。また倫理綱領を基に守秘義務についてについて理解し説明することができる。	鈴木
	精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務の理解及び実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解（橋本グループ）	精神保健福祉士に求められる職業倫理について理解する。また倫理綱領を基に守秘義務についてについて理解し説明することができる。	橋本
9	「実習日誌」への記録内容及び記録方法に関する理解（奥田グループ）	実習日誌およびプロセスレコードの書き方について理解し、作成することができる。	奥田
	「実習日誌」への記録内容及び記録方法に関する理解（鈴木グループ）	実習日誌およびプロセスレコードの書き方について理解し、作成することができる。	鈴木
	「実習日誌」への記録内容及び記録方法に関する理解（橋本グループ）	実習日誌およびプロセスレコードの書き方について理解し、作成することができる。	橋本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
10	実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する理解 (奥田グループ)	事前学習 実習施設の理解(根拠法、施設の役割等)を深め、示すことができる。 実習施設がある地域に関する情報を収集し、地域について理解を深め、示すことができる(地域アセスメント)。	奥田
	実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する理解 (鈴木グループ)	事前学習 実習施設の理解(根拠法、施設の役割等)を深め、示すことができる。 実習施設がある地域に関する情報を収集し、地域について理解を深め、示すことができる(地域アセスメント)。	鈴木
	実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する理解 (橋本グループ)	事前学習 実習施設の理解(根拠法、施設の役割等)を深め、示すことができる。 実習施設がある地域に関する情報を収集し、地域について理解を深め、示すことができる(地域アセスメント)。	橋本
11 12	見学実習 : 地域事業所 (奥田グループ)	地域事業所の実習配属先への見学(体験)実習 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等を理解し、説明することができる。	奥田
	見学実習 : 地域事業所 (鈴木グループ)	地域事業所の実習配属先への見学(体験)実習 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等を理解し、説明することができる。	鈴木
	見学実習 : 地域事業所 (橋本グループ)	地域事業所の実習配属先への見学(体験)実習 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等を理解し、説明することができる。	橋本
13 14	見学実習 : 医療機関 (奥田グループ)	医療機関の実習配属先への見学(体験)学習 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等を理解、説明することができる。	奥田
	見学実習 : 医療機関 (鈴木グループ)	医療機関の実習配属先への見学(体験)学習 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等を理解、説明することができる。	鈴木
	見学実習 : 医療機関 (橋本グループ)	医療機関の実習配属先への見学(体験)学習 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等を理解、説明することができる。	橋本
15	見学実習 : 地域事業所の見学内容のまとめ(奥田グループ)	見学実習 : 地域事業所について、グループ内で報告、共有し、実習までの事前学習内容等について理解する。	奥田
	見学実習 : 地域事業所の見学内容のまとめ(鈴木グループ)	見学実習 : 地域事業所について、グループ内で報告、共有し、実習までの事前学習内容等について理解する。	鈴木
	見学実習 : 地域事業所の見学内容のまとめ(橋本グループ)	見学実習 : 地域事業所について、グループ内で報告、共有し、実習までの事前学習内容等について理解する。	橋本
16	見学実習 : 医療機関の内容のまとめ(奥田グループ)	見学実習 : 医療機関について、グループ内で報告、共有し、実習までの事前学習内容等について理解する。	奥田
	見学実習 : 医療機関の内容のまとめ(鈴木グループ)	見学実習 : 医療機関について、グループ内で報告、共有し、実習までの事前学習内容等について理解する。	鈴木
	見学実習 : 医療機関の内容のまとめ(橋本グループ)	見学実習 : 医療機関について、グループ内で報告、共有し、実習までの事前学習内容等について理解する。	橋本
17	実習計画書の作成 (奥田グループ)	ソーシャルワーク実習の振り返りをし、所定の書式にまとめる。	奥田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	実習計画書の作成 (鈴木グループ)	ソーシャルワーク実習の振り返りをし、所定の書式にまとめる。	鈴木
	実習計画書の作成 (橋本グループ)	ソーシャルワーク実習の振り返りをし、所定の書式にまとめる。	橋本
18	実習計画書の作成 (奥田グループ)	見学実習 : 地域事業所を踏まえ、実習計画書の作成をする。	奥田
	実習計画書の作成 (鈴木グループ)	見学実習 : 地域事業所を踏まえ、実習計画書の作成をする。	鈴木
	実習計画書の作成 (橋本グループ)	見学実習 : 地域事業所を踏まえ、実習計画書の作成をする。	橋本
19	実習計画書の作成 (奥田グループ)	見学実習 : 医療機関を踏まえ、実習計画書の作成をする。	奥田
	実習計画書の作成 (鈴木グループ)	見学実習 : 医療機関を踏まえ、実習計画書の作成をする。	鈴木
	実習計画書の作成 (橋本グループ)	見学実習 : 医療機関を踏まえ、実習計画書の作成をする。	橋本
20	実習前オリエンテーション (奥田グループ)	実習に向けた全体オリエンテーションから実習中に関する注意事項について知る。	奥田
	実習前オリエンテーション (鈴木グループ)	実習に向けた全体オリエンテーションから実習中に関する注意事項について知る。	鈴木
	実習前オリエンテーション (橋本グループ)	実習に向けた全体オリエンテーションから実習中に関する注意事項について知る。	橋本
21	実習打ち合わせ (奥田グループ)	実習生、実習担当教員、地域事業所実習の実習指導担当者との三者で実習課題について検討する。	奥田
	実習打ち合わせ (鈴木グループ)	実習生、実習担当教員、地域事業所実習の実習指導担当者との三者で実習課題について検討する。	鈴木
	実習打ち合わせ (橋本グループ)	実習生、実習担当教員、地域事業所実習の実習指導担当者との三者で実習課題について検討する。	橋本
22	実習打ち合わせ (奥田グループ)	実習生、実習担当教員、医療機関実習指導担当者との三者で実習課題について検討する。	奥田
	実習打ち合わせ (鈴木グループ)	実習生、実習担当教員、医療機関実習指導担当者との三者で実習課題について検討する。	鈴木
	実習打ち合わせ (橋本グループ)	実習生、実習担当教員、医療機関実習指導担当者との三者で実習課題について検討する。	橋本
23	実習 (12日間) 学生の帰校日指導 (奥田グループ)	実習生との面接、グループでの実習を振り返り、実習の進捗状況等の確認を行う。 ジレンマ体験について理解を深め、自分の考えを述べるができる。	奥田
	実習 (12日間) 学生の帰校日指導 (鈴木グループ)	実習生との面接、グループでの実習を振り返り、実習の進捗状況等の確認を行う。 ジレンマ体験について理解を深め、自分の考えを述べるができる。	鈴木 向谷地
	実習 (12日間) 学生の帰校日指導 (橋本グループ)	実習生との面接、グループでの実習を振り返り、実習の進捗状況等の確認を行う。 ジレンマ体験について理解を深め、自分の考えを述べるができる。	橋本

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

授業参画態度 (30%)、特別講師、見学実習等各種レポート (70%)

【教科書】

北海道医療大学看護福祉学部福祉マネジメント学科『2024年度 社会福祉実習要綱』

【参考書】

その都度紹介する。

【備考】

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「ソーシャルワーク実習指導」に該当する。「精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導」(4年次前期)の履修も必要となるため、履修漏れに気を付けること。

【学修の準備】

1. 授業計画に基づき、内容を確認し、専門用語や制度、法律等を調べ、授業で紹介された用語・制度・法律等の復習を行う。(予習・復習60分)
2. 1についてプレゼンテーションまたは質問ができるようにしておく。(予習30分)
3. グループにおいて1, 2を整理、復習する。(グループ:復習60分)
4. 3を自身の課題と照らし合わせ、復習した内容をまとめる。(復習30分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1: 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP4: 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

DP5: 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【欠席等の扱いについて】

基本的に欠席は認めず、やむを得ない欠席(欠席届対象)の場合は、補講を実施し、レポートの提出を求める。

【実務経験】

橋本菊次郎(精神保健福祉士)、奥田かおり(ソーシャルワーカー)、鈴木和(精神保健福祉士)

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。